

地図と測量のコンテンツにふれてみよう！ 「ハザードマップポータルサイト」編 第2回 ～防災情報を重ねてみよう～



博士、前はウェブ上でハザードマップが確認できる、
『ハザードマップポータルサイト』を紹介してくれたよね。

うむ。今回はその中でも『重ねるハザードマップ』を
使って、防災に役立つ情報を“重ねて”みよう。



洪水や土砂災害などの自然災害によって予想される被害がわかるんだっけ？

そうじゃ。他にも、例えば災害が起こったときの避難場所もわかるんじゃないよ。



避難場所っていうと……学校や市役所のことだよな！

ケンタ君、よく知っておるな！
じゃが、災害の種類によって避難場所が変わることもあるんじゃないよ。



洪水や津波であれば、2階や3階など上の階に避難できる頑丈な建物、
地震や火災であれば、危険が及ばない大きな広場というように
私たちの住んでいるまちでは、あらかじめ避難場所を決めているんじゃないよ。
これを「指定緊急避難場所」というんじゃないよ。



[広報誌](#) > [ことばのミニ辞典](#) > 第29回「指定緊急避難場所」



確かに災害によって、どんな場所が安全なのかは変わるよね。
それじゃあ、『重ねるハザードマップ』をどんなふうに使うのが実際に使って見せてよ！



うむ！
今回は例として、広島市（広島市役所周辺）
の洪水に関する情報を調べてみよう。



調べ方にはいくつかあるんじゃないが、
見たい地域が分かっているときには
①[場所を入力]欄で「広島市役所」
と検索じゃ！



